



すべての人が生涯学び続ける地域社会をつくる

主担当部局：地域振興部



芝生化した運動場で（田原本町立南小学校）



意欲的に取り組む算数の授業（御所市立御所小学校）

### 目指す姿

子どもの人間力を育て、社会人として親としての学びを支援し、地域の教育力の充実を図ります。また、すべての県民がいきいきと暮らすため、学び続け支えあえる地域社会を目指します。



●平成28年度までに規範意識の高い子どもの割合を

**全国平均以上**

にします。

●平成28年度までに「教科が好きだ」と答える子どもの割合を

**全国平均以上**

にします。

●平成28年度までに子どもの体力・運動能力を男女とも全種目において

**全国平均以上**

にします。

●平成31年度までに子育てに心理的・精神的な不安・負担を強く感じる母親の割合を

**10.0%以下**

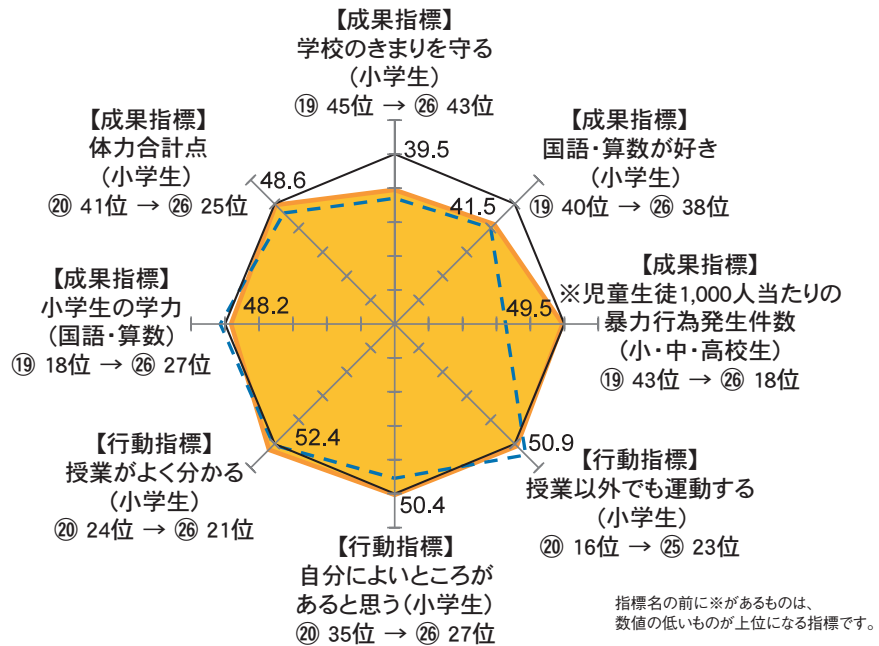
にします。

(平成25年度：13.3%)

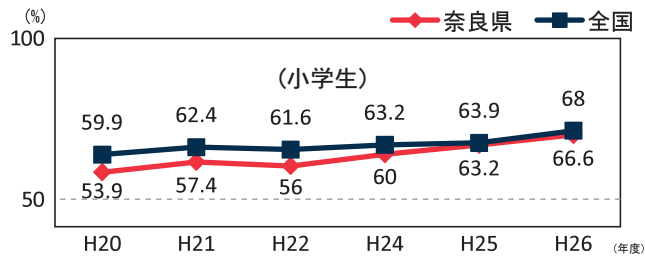
現 状

分 析

■ 主な指標

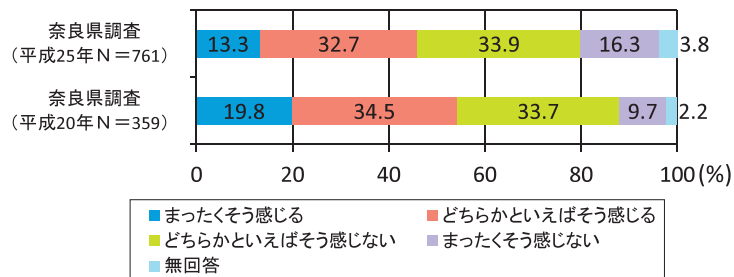


「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた児童の割合



「全国学力・学習状況調査」、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(文部科学省)

子育てに心理的・精神的な不安・負担を感じている母親の割合



H25年度「奈良県子育て実態調査」、H20年度「奈良県少子化実態調査」

- 「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた児童の割合は、全国平均に近づいてきています。(平成26年度：奈良県66.6%、全国68.0%)
- 子育てに心理的・精神的な強い不安・負担を感じている母親の割合は約1割(13.3%)で、どちらかといえば不安・負担を感じているを加えると5割弱(46.0%)になっており、平成20年度調査と比べ、ともに減少しています。

# 戦略1

## 家庭・地域・学校が協働して、子どもを自立した社会人に育てていくための取り組みを進めます。

主担当課：教育委員会 企画管理室

### 戦略目標

- ▶平成28年度までに、**教科の内容がよく分かる子どもの割合を全国平均以上にします。**(平成26年度：小学校国語81.4%〈80.1%〉、算数79.3%〈79.6%〉、中学校国語69.3%〈72.0%〉、数学72.5%〈71.5%〉) ※〈 〉内は全国平均
- ▶平成28年度まで、**学校の教育相談体制の充実を図り、児童生徒1,000人当たりの暴力行為発生件数を全国平均以下に維持します。**(平成25年度：4.2件〈全国平均4.3件〉)
- ▶平成28年度までに、**子どもの1週間の運動時間を全国10位以内にします。**(平成26年度：小学生男子644分〈644分〉、女子328分〈378分〉、中学校男子992分〈984分〉、女子660分〈690分〉) ※〈 〉内は全国10位

### 取り組み

奈良県教育の充実

学力・学習意欲、規範意識・社会性、体力の向上

教員の資質の向上

特別支援教育の充実

家庭・地域の教育力の充実



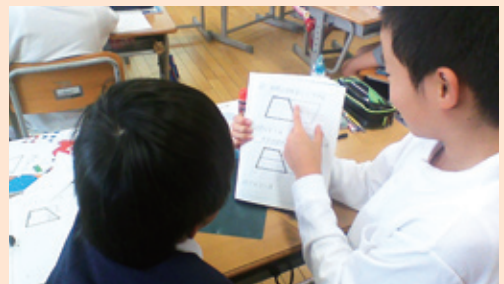
みんなあつまれ！いのちがやきフェスティバル  
高校生によるブース（うだ・アニマルパーク）



中学生の体力を高める運動  
（河合町立河合第二中学校）



教員研修（県立教育研究所）



算数での話し合い（五條市立西吉野小学校）



特別支援学校生徒の職場体験



小・中・高校生によるボランティア活動（大和高田市）



## 工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
<b>奈良県教育の充実</b>				
◎地域教育力サミット	開催			
◎総合教育会議、奈良県教育サミット			設置・運営	
◎多様な教育機会の確保（私学の振興）		私学助成等を実施		
<b>学力・学習意欲、規範意識・社会性、体力の向上</b>				
◎就学前教育の推進	検討	調査・研究	実践・検証	
◎学力向上フロンティアプロジェクト	学力検証プロジェクト「まなび-奈良」	授業モデルの提供、学習意欲や学力向上の研究		
◎奈良県学力・学習状況調査		学力・学習状況の調査、分析、提供		
◎地域ぐるみで取り組む小・中・高校生規範意識醸成		地域住民との交流、ボランティア活動の実施		
◎スクールカウンセラーの活用		校内教育相談体制の充実、不登校児童生徒の未然防止・早期対応		
◎「うだ・アニマルパーク」との連携による「いのちの教育」の展開		生命を尊重する心を育てる学習モデルの研究と啓発		
◎人権教育資料の作成、研修講座等		人権教育学習資料集の作成・活用、人権教育各種研修会の開催		
◎幼少期からの運動習慣の確立		親子運動遊び教室等の開催		
◎子どもが運動やスポーツに親しむための環境整備		運動場芝生化の推進		
◎青少年の使う携帯電話のフィルタリングサービス利用促進		啓発活動の展開		
<b>教員の資質の向上</b>				
◎教職大学院との連携による若手教員育成研修システムの研究・開発		採用2年目教員に対する研修システムの開発・実施		
◎ミドルリーダーの養成		ベテラン教員の技能の継承、学校運営を担う人材の育成		
◎ICTを活用した教員の指導力向上及び豊かな学びの実現		教員研修の実施、教育環境の整備		
<b>特別支援教育の充実</b>				
◎高等養護学校の分教室の設置		施設整備		
		交流、共同学習実施	分教室での学習	
<b>家庭・地域の教育力の充実</b>				
◎就学前の子どもの発達に応じた親と子の学びプロジェクト	「おはよう・おやすみ・おてつだい」約束運動	「あいさつ・ありがとう・あさごはん等」運動	就学前懇談会等と連携した取り組み・支援	
◎「地域と共にある学校づくり」の推進		「学校・地域パートナーシップ事業(公立幼・小・中)」の推進、県立学校における体験の場の創出と地域貢献の推進		
◎子どもと大人でつくる地域のつながりの支援		地域の交流活動を支援		



奈良県地域教育力サミット



みんなあつまれ！いのちかがやきフェスティバル  
木工クラフト（うだ・アニマルパーク）

## 戦略2

### ライフステージに応じた学びを支援します。

主担当課：くらし創造部 青少年・生涯学習課

#### 戦略目標

- ▶ **父親が子育てを学ぶ催し**を平成27年度からの5年間に**累計50回開催**します。(平成25年度末累計：33回)
- ▶ ニート・ひきこもり支援地域ネットワークを構築するために、**子ども・若者支援地域協議会**を平成28年度までに**5地域に設置**します。(平成25年度：2地域)

#### 取り組み

若者のライフデザイン形成への支援

子育てに関する学びの支援

ニート等の自立支援の充実

野外活動センターの機能充実

生涯学習の推進

県立大学改革の推進

(仮称) 奈良県国際芸術家村の検討



「なら子育て大学」でのミュージックコンサート  
(奈良学園大学奈良文化女子短期大学部)



東アジア・サマースクール講義風景



都祁吐山フェスタ



子ども・若者支援機関研修におけるグループワーク

## 工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
若者のライフデザイン形成への支援				
◎大学生等若者のライフデザイン形成への支援	取り組み検討	「ライフデザインセミナー」「赤ちゃん先生教室」の開催		
子育てに関する学びの支援				
◎大学との連携による公開講座「なら子育て大学」等の取り組み	「なら子育て大学」「出張・なら子育て大学」の実施			
◎利用者支援事業と地域子育て支援拠点事業の一体的運営の推進	拠点充実事業	子育て支援プログラムの普及・利用者支援専門職員養成研修等		
ニート等の自立支援の充実				
◎ニート・ひきこもり支援地域ネットワークの構築	子ども・若者支援地域協議会の設置促進			
◎ひきこもり相談窓口の設置等総合的な支援	ひきこもり相談窓口の設置			
	訪問支援・居場所の提供			
野外活動センターの機能充実				
◎幅広い年代の人々が楽しみ、満足感が得られる環境の充実	施設耐震補強等			
◎地域と連携したイベントの開催等野外体験活動の充実	自然体験・食文化体験イベント開催・体験活動の充実			
生涯学習の推進				
◎生涯学習情報の提供	「まなび奈良」の発行等			
◎学び直しの機会の提供 (奈良県立大学シニアカレッジの開講)	開講	中南和分校設置(県内2カ所で実施)		
県立大学改革の推進				
◎少人数対話型教育(学習コモンズ制)の実施	導入・実施			
◎公立大学法人化	法人化準備	公立大学法人運営を実施		
◎県立大学施設整備の推進	計画的に整備			
◎東アジアサマースクールの開催	県実施		県立大学実施	
(仮称)奈良県国際芸術家村の検討		基本構想の策定	検討	



県立大学施設整備(イメージ)



シニアカレッジ授業風景



## これまでの成果

**児童生徒の暴力行為の発生件数**（児童生徒1,000人当たり）の**全国平均以下を維持**しました。（平成26年度：県4.2件、全国4.3件）

「外遊びみんなでチャレンジ」登録校数を増やすなどの取り組みにより、**小学生の体力**はほぼ**全国平均**に達しています。（平成23年度：44校→平成25年度：59校）

**県・市町村長サミットを2回実施**し、各市町村長及び教育長が奈良県教育の基礎検討課題の報告をもとに**意見交換**をしました。（6月、10月）

保育士養成課程のある県内大学と連携し、親が子育てについて学んだり、親子が交流する「**なら子育て大学**」を**15講座開催**しました。

平成26年4月より、県立大学において**少人数対話型教育（学習コモンズ制）を導入**しました。

平成26年度に県立大学が公開講座を2回開催（30名参加）、図書情報館が館長公開講座をはじめ、各種講座を延べ43回開催（2,900名参加）し、**広く県民に学習の機会を提供**しました。

定款、中期目標を定める等、県立大学の平成27年4月からの**公立大学法人化に向けた準備を進め**ました。

平成26年度に**青少年の利用する携帯電話に関する出前啓発講座を84回開催**しました。（約14,000人受講）

**奈良県立大学シニアカレッジを開催**し、平成26年度は**492名が受講**しました。



小・中・高校生によるボランティア活動（香芝市内）

## 主な指標の動き

### ■よくなっている指標

体力合計点  
(小学生)

**105.70点** (平成20年度 全国41位)  **108.54点** (平成26年度 全国25位)

毎日運動する習慣づくり、各学校での体力向上推進計画の立案・実施、子どもが日頃の力を発揮できる体力テストの実施などの取り組みにより、この6年間で小学生の体力合計点は2.84点、中学生は8.18点向上しました。

※児童生徒1,000人当たりの  
暴力行為発生件数(小・中・高校生)

**7.9件** (平成19年度 全国43位)  **4.2件** (平成26年度 全国18位)

学校支援アドバイザーや学校巡回アドバイザーの派遣、スクールカウンセラーの配置、高校生社会参加活動の実施などにより、平成24年度から、全国平均以下を維持しています。

学校のきまりを守る  
(小学生)

**82.9%** (平成19年度 全国45位)  **88.6%** (平成26年度 全国43位)

学校や社会のきまりやマナーを守ることの意義を理解させ、実践させる取り組みなどにより、学校のきまりを守ると答えた児童の割合は、徐々に高くなってきており、全国平均との差が縮まっています。

### ■変化が見られない指標、低下している指標

国語・算数が好きだ  
(小学生)

**60.1%** (平成19年度 全国40位)  **60.3%** (平成26年度 全国38位)

各年度ごとに多少変動が見られますが、おおむね全国平均より2ポイント程度下回った状態で推移しています。平成25年度に全国平均(62.05%)との差が1.25ポイントまで縮まり60.8%となりましたが、平成26年度は60.3%で全国平均(62.65%)との差が2.35ポイントと少し広がりしました。



幼児の楽しい外遊び  
(宇陀市立榛原東幼稚園)

指標名の前に※があるものは、数値の低いものが上位になる指標です。